



県南広域振興局 環境かわら版 平成27年2月第4号

県南地域の環境活動に取り組む企業、環境団体、行政の情報をお届けします!!

■環境活動に取り組む地域の企業ご紹介 H26 県南広域振興局環境大賞受賞企業特集

県南広域振興局では、管内事業所の優れた環境取り組みを「県南広域振興局環境大賞」として表彰します。平成26年度は、北上製紙株式会社、工藤建設株式会社および株式会社デンソー岩手の3社（五十音順）を大賞として表彰することに決定しました。表彰式は環境交流セミナー（3月6日）で行います。なお、本号では、受賞3企業の取り組みについてご紹介します。

・北上製紙株式会社(一関市旭町)

同社は、昭和23年から一関市において製紙事業を営んでいます。また、地球環境保全のため、昭和39年からは新聞紙、雑誌、段ボール等の古紙を原料とする再生紙の製造を行っており、現在は多くの製品が古紙100%となっています。

紙資源の循環利用を促進するためのシステム開発や取り組みを行っており、その中の一つ、「機密書類リサイクルシステム」は、これまでシュレッダーで断裁後焼却処分されていた機密書類等を、機密を保持したまま製紙原料として新たに紙へ再生することで、資源の有効活用、焼却による環境影響の削減、また、シュレッダー作業等の手間や使用電力の削減を可能にしています。この他、地域の小規模事業所や、住民などを対象とした古紙の回収ボックスとして、「紙源のカゴ」を構内に設置しています。これは当初、県振興局、一関市生活環境課、北上製紙で話し合い、市の資源ごみ回収や回収業者による古紙回収など既存の回収ルートから外れる小規模事業所などを対象として、紙資源の循環利用促進のため運用を開始したものです。「紙源のカゴ」の運用により、地域の資源循環、焼却ゴミの減量化を推進しているほか、ここから得られた収益金を社会福祉協議会へ寄付するなど、地元へ還元しています。



小規模事業所および地域住民向け資源回収システム「資源のカゴ」
古紙を持ち込まれた方には紙ひもをサービスしています
連絡先 TEL：0191-23-3366、FAX：0191-23-6192
URL <http://kitakami-p.jp>

古紙から再生した紙ひも
これもリサイクル可能です

・工藤建設株式会社(奥州市水沢区)

奥州市水沢区で治山や河川工事を中心とした建設業と、自然エネルギー利活用に係る環境関連技術の開発・販売を行っています。

それぞれの地域にはその地域ごとの特徴のある再生可能エネルギーが存在しますが、再生可能エネルギー自体はエネルギー密度が低く、取り扱いにくい欠点があります。同社は、その利用しにくい再生可能エネルギーを使いやすくするための研究・開発を行い、地域の良さを理解し、原発や化石燃料を浪費する社会から脱却すること、また「無理をしないでエネルギーを削減すること」と「節約(我慢)すること」が混同しているので、正しく理解していただくことを目的として活動しています。

開発技術の一つ「ジオプロロード」は、一般的なヒートポンプ方式とは違い、浅い地中熱

を利用した空気直接熱交換方式の空調システムです。胆江地区に広がる胆沢扇状地は、世界的にも珍しい浅い地下水を保有しており、土に比べ比熱の大きい地下水の温度を利用できるため、より良い設置条件となっています。

同社では、この空調技術や他の自然エネルギーに、高気密・高断熱住宅を組み合わせた超省エネ住宅を建築し、東北では初めての世界最高峰の省エネ水準であるドイツのパッシブハウス認定を受けました。この住宅はモデルハウスとして随時見学者を受け入れており、平成25年度は約300名の見学者が東北における住環境の整った省エネを体感されています。



ジオプロロード大規模システム施工事例

モデルハウス外観

モデルハウス見学会の様子

連絡先 TEL：0197-23-4642、FAX：0197-25-7609

URL <http://www.ecokudo.com>

・株式会社デンソー岩手(金ヶ崎町西根森山)

2012年に富士通セミコンダクター(株)より岩手工場の資産譲渡を受け、(株)デンソー岩手として操業開始。車載半導体の製造、販売を行っています。

同社は、持続可能な社会の実現に向け「環境にやさしい企業」を目指しており、その取り組みは「デンソーエコビジョン」に基づき、エコマネジメント・エコファクトリー・エコフレンドリーをキーワードに、社員一人ひとりが環境活動に関わり進めています。

特に重点テーマである、生産活動におけるエコフレンドリー活動として、地域と自然との共生に向け、環境社会貢献活動、生物多様性保全活動等に取り組み、積極的な情報発信とコミュニケーションに努めています。主な取り組みとして、2010年より開始した、県南広域振興局との協定による「企業の森づくり活動」では、社員と家族ボランティアによる千貫石森林公園内の県有林整備活動を2020年まで継続して行うほか、金ヶ崎町との協働によるクリーン活動の実施(年1回)、金ヶ崎町環境推進大会への参画(自社食堂から発生した生ゴミから作成した堆肥の無償配付)、ボランティアによる工場排水放流先河川の清掃、グリーンカーテン活動による職場緑化などを行っています。



企業の森づくり活動の様子これまでののべ参加人数は400名程です

連絡先 TEL：0197-44-6605、FAX：0197-44-2556

URL <http://www.denso-iwate.co.jp/>

■環境活動団体のご紹介

・胆江森クラブ(奥州市)

胆江森クラブは岩手県から認定された「いわて森の達人」を中心に7名の構成員で、森林に関する活動を幅広く実施しています。

自主活動のほか、県南広域振興局、奥州市、奥州いわて・NPOネットおよび環境学習交流センター等からの派遣依頼による出前講座も数多く行っています。

出前講座の内容は、森林整備、自然観察、木工教室や森林に関する講義など、主催者の希望により多彩な要望に答えています。活動範囲は胆江地域が主で、千貫石森林公園、つぶ沼周辺、種山が原、学校林など、希望内容に応じて現地に出向き、実施しています。

自主活動では、日本三大散居の象徴である胆沢区の屋敷林（エグネ）の保存整備、神社境内林の環境整備も行っています。

特に力を入れている、小中学校や親子向けの森林体験では、木工を希望する所が多くなっており、木の実や葉っぱ・木片などを使って表札や装飾品作りを指導しています。受講者の目的は、文化祭の出品・夏冬休みの宿題解決などさまざまですが、作る人の感性が養われるほか、木の実から樹木の種類を覚え、森林に関心を持つのに役立っています。

森林の果たす役割、自然環境の大切さを次世代に伝えるため、活動を継続しています。



枝打ち作業体験



自然観察会の様子



木工体験中（右は作品例）

連絡先 会長 阿部永宏 Tel 0197-32-2001

・ホタルの里づくり実行委員会（奥州市）

県立胆沢病院周辺の住宅地を流れる、胆沢平野用水路の清掃・保全整備活動を中心に、地域の交流・憩いの場づくりを行っています。

活動を行っているフィールドは、かつて養蚕試験場があり、周りに桑畑や樹木が茂り、ホタルも飛ぶ環境でしたが、近年、住宅や店舗が増え、環境が大きく変わり、ホタルの飛ぶ姿も見られなくなってしまいました。

「ホタルの里づくり実行委員会」は平成15年に町内有志により設立され、名前の通りホタルの生息環境を取り戻すことを目的に、農地水環境保全管理協定運営委員会の助成金を活用して、長さ200m程の水路の整備、カワニナの放流などを行っています。

活動の成果により、一時はホタルが飛ぶようになりましたが、ここ2～3年はホタルの飛翔が全く確認されていません。このため、平成25・26年度には水質調査を行い、今年度は南大鐘子供会育成会と連携し、夏休みの環境学習として水路の水生物調査を行いました。

調査では、ややきれいな水に棲むコオニヤンマが採取されましたが、全体としては、アメリカザリガニが最も多く採取されたことから、水質等級はⅣ（とてもきたない水）と判定されました。調査を通じ、川をできるだけ汚さないための工夫について、地域児童と共に学習する良い機会となりました。

今後も、用水路の水をきれいにする取り組みと共に、身近な川、用水路をどのように守り活用するか、地域の住民組織、NPO等と情報交換する機会を模索したいと考えています。



環境整備を行っている用水路



地域児童との水生物調査の様子



用水路では大型のカワニナも発見
ホタルが戻ることを期待しています

連絡先 / 委員長 皆川 治

電話・FAX / 0197-24-5227

■イベント情報

・環境交流セミナー ～つながる！ひろがる！環境の環～

および平成26年度県南広域振興局環境大賞表彰式のご案内

県南地域の豊かな自然を守り育てるため、地域の企業や環境団体の環境活動の取り組み事例発表や、環境保全分野における垣根を超えた協働連携についての講演を聞きながら、いっそう環境活動の環を広げるヒントを探ります。



日時：平成27年3月6日（金）13：30～16：15（13:00開場）

会場：水沢グランドホテル 2階 天平の間（奥州市水沢区東町40）

内容：・平成26年度県南広域振興局環境大賞表彰式

- ・環境大賞受賞者による取組発表
- ・講演／〈企業-NPO〉連携・協働による環境保全-
“Win-Winの関係”実現に向けて

岩手大学人文社会学部 准教授 塚本 善弘 先生

- ・協働事例発表／生母生産森林組合の活動と協働

～いわて生協とのイロハモミジの植樹活動～

生母生産森林組合 特別顧問 大石 喜清 氏

申込：NPO法人奥州・いわてNPOネット（セミナー事務局委託先）

イベント詳細は→<http://www.pref.iwate.jp/kennan/hoken/kankyo/O32908.html>

■環境これナニ情報

*****全国水生生物調査—川にすむ生物を採取して水質を調べよう！—*****

全国水生生物調査は、環境省および国土交通省の呼びかけにより、川にすむ生物を採集し、その種類を調べることで、水質（水のごよれの程度）を判定する調査で、全国約8万人が参加しています。

岩手県でも児童の環境学習の一環として、県内の学校や、地区子供会、エコクラブなど毎年多くの団体が調査を実施し、結果をご報告いただいておりますが、実は岩手県、参加団体数は全国第3位、参加率は第1位と長年上位をキープしています。河川水質が良く、調査実施しやすい環境が整っていることも、参加者が多い理由のようです。

振興局の職員も調査のお手伝いをしていますが、初めはおっかなびっくり生き物を採取していた生徒さんたちが、目をキラキラさせて夢中になっていく姿がとても印象的です。

この調査は、実際に川に入り、そこに住む生き物に触れることで、川を理解し、川をきれいに守ろうという意識に繋がることを目指しています。

また、長年調査を実施している団体には、知事感謝状を贈呈しており、今年度は花巻市立石鳥谷小学校、奥州市立人首小学校ほか、全5団体に贈呈しました。



知事感謝状贈呈式
（奥州市立人首小学校）



水生生物調査の様子
（金ヶ崎町立永岡小学校）



採取した水生生物（きれいな川に住む生物）
写真中央はヘビトンボの幼虫で5cm程度

調査結果マップを公開しています→<http://www.pref.iwate.jp/kankyou/hozen/suishitsu/O03142.html>

発行：県南広域振興局保健福祉環境部【環境衛生課 伊藤】、NPO法人奥州・いわてNPOネット
ご意見・ご要望・取り上げて欲しい情報などありましたら、下記連絡先まで！！

TEL 0197-22-2831（内線280） FAX 0197-22-4106 メールアドレス BD0003@pref.iwate.jp